

第2学年 道徳科学習指導案

1. 日時 令和2(2020)年11月25日(水) 5校時(13:50～14:35)
2. 主題名 あいてのことを 考えて B-6 親切、思いやり
3. 教材名 「こんなとき どうするかな」
出典 『 小学校道徳2年 』 光村図書
4. ねらい (道徳)困っている子を描いた2つの場面を通して、相手の気持ちに寄り添った言葉かけや行動の大切さに気づき、相手のことを考え、優しく接しようとする判断力を育てる。
(人権)「ほほえみ」の人権推進項目(3-(2)-ア)人間関係の活性化
人権尊重の理念に基づいて、人と人々が豊かに共生していくために必要な資質や技能の育成を図る。表情や行動から相手の思いを推測し、相手の気持ちに寄り添った言葉かけや行動を考える力を養う。
5. 評価 ・様々な状況を想定して、思いやりのある行動をとることの大切さや難しさについて考えられたか。(多面的・多角的に考える)
・誰かが困っていることに気づいたとき、どのような気持ちをもって言葉をかけたり、行動したりすればよいのかを考えられたか。
(自己の生き方について考えを深める)
・身近にいる人に対して温かい心で接し、親切にすることのよさについて考えられたか。(道徳的価値の理解を基に)
・困っている人にどんなふうに接しているかと、自分を見つめられたか。
(自己を見つめる)

6. 主題設定の理由

(1)ねらいとする道徳的価値・人権教育の推進項目との関連について

「親切、思いやり」は、人間関係を築く上での基本的姿勢として求められる。相手の立場

や気持ちを押し量り、励ましたり、援助したり、時には、厳しく接したり、そっと距離をとったりすることである。

友だちなどの他者に対して、直接的に多様なかかわりを持つことが求められる学校生活においては、思いやりや親切な行為の難しさと意義を実感できる機会をとらえて指導していくことが大切である。

特に2年生という発達段階では、身近にいる人の状況や変化に気づき、思いやりの心をもって接することができるような判断力を育みたい。

(人権推進項目3-(2)-アとの関連)

上記の人権推進項目は、「3、人権を尊重した生き方のための資質や技能を育成する教育」に分類されるものである。中でも(2)は「思いやりの心の育成」となっており、道徳科のねらいと一致する部分は大きいと考える。また、「友だちの思いを聞き、気持ちや願いに気づく」という本校の人権教育2学年のねらいともかかわりが深い。学校という場所には、様々な個性を持った人々との出会いがある。一人ひとりが生活環境や性格なども含めた自他の違いに気づき、認め合い、尊重できる人間関係を築こうとする考え方が大切である。また、その考え方に基づいて、自分も相手も心地よくなるように行動しようとする技能を身につけさせたい。

(2)教材について

本教材は、困っている子がいる2つの場面が描かれている。1つは、みんなで作った砂のお城を壊してしまった子がいる場面。もう1つは、休み時間にみんなが遊んでいる校庭でさびしうにしている子がいる場面である。2つの場面がともに一人対多数の状況であり、困っている子どもが自分から声を出しにくい設定となっている。それぞれに、簡単な文章でその場면을説明する文章がついている。文章を読めば、二人の子がどのような心持ちなのか理解することは難しくないが、挿絵だけを見ると「なぜそうなってしまったのか。」「どうしてそのような表情をしているか。」など、様々な心情が想像できる。自分なりにそれぞれの状況を把握し、それに応じた思いやりのある行動を多面的・多角的に考えることができる教材であるといえる。

実際の生活の中で、突然起きた事態をていねいに説明してくれるナレーターがいる事はない。自分がその場面を見て、どう捉えるのか、そして自分が考えた状況に対して、どのように関わっていこうとするのかを考えることで、自分自身の考え方やこれまでの行動も振り返ることができるはずである。

(3)指導にあたって

まず、導入部分では、「困っている子を見たことがあるか。」を聞き、困っている子にかかわることは、身近な出来事であることに気付かせたい。

展開前段では、黒板に拡大した1つ目の場面の挿絵を掲示する。砂場の場面は、壊された側も壊してしまった側も困っている状況である。「みんな」も、壊してしまった「こうきくん」も壊れた砂のお城を囲んで驚き、慌てているような表情が見てとれる。これらの表情をもとに、「みんな」は大切なお城を壊されて困っている一方で、多くの友だちに迷惑をかけてしまった「こうきくん」もまた、「どうしよう。」と困っていることを確認したい。そして、「みんな」の立場なら、壊された事をどう感じるか、「こうきくん」にどんな言葉をかけ、どんな行動をとるかを考えさせる。

展開後段でも運動場の場面の挿絵から状況を想像させる。この女の子が「何かに悩んでいるのか」「遊びに入りたいのか」「お腹がいたいのか」挿絵だけでは分かりづらい。分かっていることは、さびしそうな表情をしていることだけである。その情報をもとに、自分ならその表情をどうとらえるかを問いかけ、その後、どんな行動をとるのかを考えさせたい。

終末では、これまでの板書から、ある場面や行動、その人の表情を見ただけでは本当の理由や相手がおかれている状況は定かではない事を振り返る。そして、相手のことを考えた言葉かけや行動(思いやりや親切)とはどういうものなのかについてワークシートにまとめる。授業後、子どもたち一人ひとりが、困っていそうな誰かを見かけたとき、自分で考え、相手の思いに寄り添った行動がとれるようになってほしいと願っている。

7. 研究主題との関連

(1) 本時における目指す児童像

《2020年度 川西市立けやき坂小学校
道徳教育重点目標》

思いやりの心を持ち、互いに認め合
うことができる子

《2020年度 川西市立けやき坂小学校
人権教育目標》

互いに認め合い、助け合うことが
できる子どもを育てる

《2年 目指す子ども像》

温かい心で友達と接し、
ともに助け合う子

《学年別人権教育のねらい 2年》

友だちの思いを聞き、
気持ちや願いに気づく

《本時における目指す児童像》

相手に寄り添った言葉かけや行動を考え、実践しようとする子

(2) 研究主題に迫るための指導の工夫

【2年研究テーマ】

児童が自分と向き合える道徳の授業を目指して

◎教材提示とワークシートの工夫

手立て1

教科書を開かず、状況説明も簡略化した中で、だれが困っているのか、相手は何を考えているのか、どのような声かけや行動が適切なのかを子どもたち一人ひとりに考えさせる。この手立てによって、状況の捉え方は様々であり、その時々で相手に寄り添った言動を考える必要があることに気付けるのではないか。（多面的・多角的な考え方）

手立て2

困っている子を見つけたとき、自分なら「どうする」という「行動」と、「どうして」そうしたのかという「理由」を記入できるワークシートを使用する。様々な状況に対して、これまでの経験をもとに、自ら対応を考える必要があることに気付けるのではないか。（自己の生き方について考えを深める。）

8. 本時について

(1)ねらい

- ・困っている子を描いた2つの場面を通して、誰かが困っていると気づいたとき、自分ならどうするかについて考えさせ、相手のことを考え、優しく接しようとする判断力を育てる。
- ・人権尊重の理念に基づいて、人と人々が豊かに共生していくために必要な資質や技能の育成を図る。表情や行動から相手の思いを推測し、相手の気持ちに寄り添った言葉かけや行動を考える力を養う。

(2)展開

学習過程	○学習活動	主な発問と予想される児童の思い	指導上の留意点◇ 評価☆
導入(5分)	(1)これまでの学校生活で、困っている子を見たことがあるかを思い出す。	これまでに、困っている子を見たことがありますか？ ・ある。・問題がわかっていなかった。 ・ものをなくしていた。	◇これまでの生活を思い起こさせ、困っている子がいるのは身近な出来事であることに気付かせる。
(めあて)だれかが こまっているとき、どんなことを考えて、何をすれば いいのか 考えよう。			
展開前段(20分)	(2)場面1(砂のお城がこわれた)を掲示し、誰が困っているのかを考える。 自分がお城を壊された「みんな」の一人として、「こうきくん」のことをどう思うか、自分ならどのような行動をとるのか考える。	みんなで作ったお城が壊れています。誰が困っているのでしょうか？ ・みんな ・こうきくん 自分がお城をこわされた「みんな」の内の一人なら、どうしますか？なぜそうしたのですか？ (どうする) ・こうきくんにおこる。 ・「だいじょうぶ。」と声をかける。 (どうして) ・壊されて腹がたつから。 ・こけて痛そうだし、壊して困っていそうだから。	◇お城を壊された「みんな」が困っており、「こうきくん」に腹を立てても仕方のない状況であることに注目させる。同時に、「こうきくん」もみんなに申し訳ない気持ちで困っていることにも気づかせる。 ◇「こうきくん」に怒る気持ちがあっても、自分なら「こうきくん」にどのような行動をとるのか、なぜそうするのかを考えさせる。 ☆自分の行動とその理由を考え、まとめられたか。(ワークシート)

展開後段(13分)	(3)場面2の絵(一人で暗い表情をする女の子がいる)を掲示し、女の子がどんなことで困っているか考え、どうすればよいか考えさせる。	女の子はどうしたのでしょうか？ ・いっしょに遊びたい。・悩んでいる。 あなたならどうしますか？ (どうする) ・「遊ぼう。」と声をかける。 ・「どうしたん？」という。 (どうして) ・たぶん遊びたいと思うから。 ・何かあったのかもしれないから。	◇女の子の表情から、自分のこれまでの経験をもとに、どのような状況なのか想像し、何をするか、なぜそうするのかを考えさせる。 ☆「女の子」の状況を想像し、自分の行動とその理由をまとめられたか。 (ワークシート)
終末(7分)	(4)板書で授業を振り返り、困っている子がいた時、どうするのか、なぜそうするのかを考えてワークシートにまとめる。	困っている子がいたとき、どんなことができるのでしょうか？なぜそうするのでしょうか？ ・「どうしたの？」と聞く ・「大丈夫？」と言う ・相手が何を困っているのか考える。 ・相手のことを知ろうとする。	◇困っているかもしれない子を前に、まず、どうするのか？(行動)なぜそうするのか？(理由)という順番でまとめさせることで、相手の気持ちに寄り添う大切さに気付かせる。 ☆困っている子を見つけた場合、どんな行動をとるのかと、その理由をまとめることができたか。 (ワークシート)

(3)板書計画

第25回

・ものをなくしていた
・問題が分かっていたいなかった。

④め

だれかがこまっているとき、どんなことを考えて、何をすればいいのか考えよう。

みんな

こわされた。おこる。

こうきくん

こわしてしまった。

どうしよう。

○どうする？

おこる

「だいじょうぶ？」

「作りなおそう。」

○どうする？

・遊びにさそう

・「大丈夫？」

・「どうしたの？」

挿絵2

○どうして？

・こうきくんをゆるせない。

・こうきくんはわざとじゃないかもしれないから。

☆こまっぺいそうな子がいたら・・・

・声をかける

・「大丈夫？」と聞く

挿絵1

女の子は・・・

いっしょに遊びたい。

気分が悪い。

嫌なことがあった。

○どうして？

・みんなと遊びたいと思う

・おなかがいいたいのかも。

・いやなことがあったのかも。

何を困っているかわからないから
かわいそうだから

○どうする？

・遊ぶにさそう

・「大丈夫？」

・「どうしたの？」